



みどりの里

宇奈月小学校だより

第2号

令和5年5月26日

目指す子供像 うんとかながえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなところの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地 |

URL <http://www.tym.e.ed.jp/>

TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

地域の方々に支えられている子供たち

校長 齊木 裕

4月16日に国指定重要無形文化財の「明日の稚児舞」が黒部市宇奈月町明日の法福寺で奉納されました。宇奈月小学校の児童4名が、太鼓や笛の音に合わせて「矛の舞」「太平楽」「臨河の舞」「万才楽」「千秋楽」等5曲を古式ゆかしく舞いました。明日稚児舞保存会の方々に指導を受けながら上手に舞っていました。



4月22日には、なめこの植菌を行った原木を青少年育成市民会議下立支部の方々が「下立キノコの森」に運んでくださいました。原木を「下立キノコの森」に3年間置いておくと立派ななめこに育つそうです。6月の鉾ヶ岳歩行会のときに山頂でなめこ汁を食べることになっています。



5月16日には、昨年度6年生がナメコの植菌を行った原木のある「下立キノコの森」を見学し、舟子川上流でイワナの放流体験を行いました。

「イワナはぬるぬるして、つかむことがむずかしかったです」「イワナの歯がざらざらで、おどろきました」「自然がたくさんあって、やっぱり宇奈月はいいなあと思いました」「この体験で、イワナやいろいろな魚、自然を守ろうと思いました」等の感想から、多くの子供たちにとって初めての貴重な体験であったことがよく分かりました。



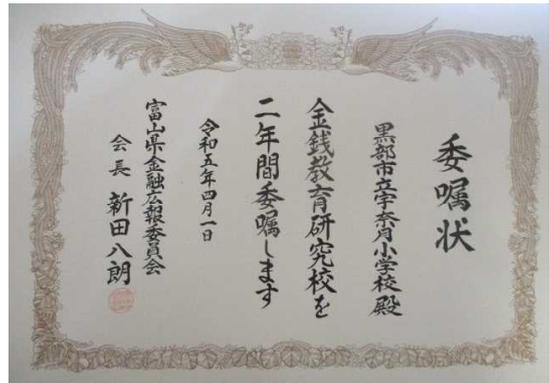
5月22日には、6月に開催されるわんぱく相撲名水場所に参加する児童が、地域の相撲指導者の方々に学びながら、練習を始めました。鶏野神社の相撲場も整備していただきました。

6月2日には、地域、保護者と6年生が鉾ヶ岳歩行会を行う予定です。どの行事も地域の皆さんが、子供たちのために時間と手間をかけて準備し、一緒に取り組んだり指導したりしてくださる活動ばかりです。これらの活動を通して、子供たちは「ふるさと宇奈月」の自然や伝統を大切にするとともに、地域の方々の熱い思いに触れ、自分の暮らす宇奈月地区を誇りに思う気持ちや愛着を育てていると感じています。



金銭教育の研究校になりました

4月26日にホテルグランテラス富山での「富山県金融広報委員会総会」において、金銭教育研究校の委嘱状をいただきました。2023年度および2024年度の2年間富山県金融広報委員会の金銭教育研究校として、金銭教育活動を実践していきます。県下では、富山県立富山商業高等学校、片山学園初等科、黒部市立宇奈月小学校の3校が研究校となります。

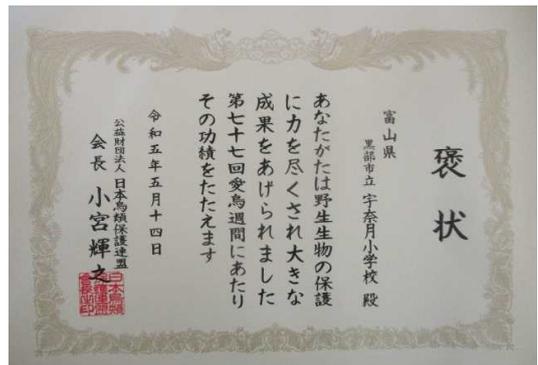


金銭教育で育てたい子供像「物や命を大切にし、思いやりのあふれる子」「働くことの尊さを知り、進んで体を動かす子」「お金や物の価値を知り、実生活に結び付ける金銭感覚を身に付けた子」に迫る授業実践をしていこうと考えています。

令和5年度野生生物保護功労者表彰を受賞しました

5月14日に富山県庁大ホールにおいて、「野生生物保護者功労表彰」を受賞しました。

4つの野生生物保護に関する本校の取組が認められました。1つ目は、平成18年度より、イワナの放流活動を行っていること。2つ目は、平成18年度に作られたビオトープで、生き物観察や水草取り、草刈り等を行っていること。3つ目は、令和2年度から里山ホテルの会より講師を招き、ホテルの学習会を行い、ホテルの幼虫を飼育・繁殖を試みたこと。4つ目は、愛鳥週間に合わせて、愛本地区の雑木林に親子による巣箱の取り付けを行っていることです。



これらの活動を通して、地域の自然環境を保全し、進んで関わる姿勢を子供たちは、育んでいます。

クラブ活動が始まりました

5月18日から、4年生から6年生でクラブ活動が始まりました。子供たちにやりたいクラブのアンケートをとり、8つのクラブを結成しました。外部講師を招いてのクラブも2つあります。異学年集団で、共通の興味・関心をもちながら、楽しく活動をしています。年間5回を予定しています。どんな活動をするのかどの子供も楽しみにしています。



《「花とみどりの少年団」の活動より》



5月10日に「花とみどりの少年団」の結団式を行いました。青少年育成黒部市民会議下立支部の森下さんから、森林の働きや自然を保護することの大切さについて教わりました。子供たちは、自分たちの生活と森林が密接に関わっていることに気付いたようでした。誓いの言葉、終わりの言葉、森下さんの話を聞いてからの感想を言った子供、司会を務めた子供たち、話を聞く態度もすべて立派で関心しました。5年生が、とても頼もしく見えました。今後の活動をととても楽しみにしている様子でした。

《令和5年度のアクションプランについてお知らせします》

【アクションプラン1】

重点項目	学習指導（うんとかんがえる子・・・知）
重点課題	自主学習の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに様々な教科で端末を利用し学習で活用し続けたことで、タブレット端末の操作に慣れるとともに、AIドリルにも自主的に取り組む児童が増えてきた。一方で、課題の設定においては、教師が主導となることが多く、自ら個別最適な課題を設定して主体的に取り組む場面が少なかった。学習の主体としての意識の高さに課題がある。 ・家庭学習への取組の個人差が大きい。自分から進んで課題を見つけて取り組む児童もいれば、与えられた課題に取り組むのが精一杯な児童もいて、内容や丁寧さ等の質について改善の余地がある。
具体目標 数値指数	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の伸ばしたい力を見だし、必要な学習内容を考えたり時間を調整したりしながら家庭学習に取り組む子供の割合80%以上を目指す。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習では、授業との連動を図り充実した学習内容を提示する。そして、コメントや丸付け、シール等による賞賛や励ましにより意欲の継続を図る。 ・模範となるノートを掲示したり、展示したりすることにより、児童の取組を意欲付けする。 ・家庭学習として、宿題や自主学習ノート、読書等の他に、タブレット端末を利用したAIドリルにも自主的に取り組むようにする。
外部評価者	学校評議員、保護者
公開方法	学習参観、学校・学年だより、ホームページ、学年・学級懇談会

【アクションプラン2】

重点項目	生徒指導（なかよくする子・・徳　きれいなところの子・・心）
重点課題	◆　自己有用感を育む教育活動の実施
現　　状	<ul style="list-style-type: none"> ・あさがおさいた運動を推進してきたことにより、互いのよさやがんばりを認め合おうとする意識が高まってきた。 ・相手の立場や気持ちを考えた言動が難しい子供や、学校生活への意欲や目標をもてずにいる子供がいる。
具体目標 数値指数	・自分の行いが、「喜んでもらえた」「人や学校のためにできた」「役に立った」と実感できた子供の割合80%以上
方　　策	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の様子や変化をよく観察し、過程に触れた褒め言葉で子供を認めることで、子供の行動を価値付ける。 ・異学年交流を通して、上学年としての役割意識を育成する。 ・教室内でできる小さなボランティア等の体験活動を意図的に設定する。 ・職員間の情報交換会等において、各学級の子供のがんばりを伝え合うことで、担任以外の教職員からも子供が認められる機会につなげる。 ・日頃の授業や行事等の振り返りの中で、子供同士が互いのがんばりを認め合う場をつくる。
外部評価者	学校評議員、保護者
公開の方法	学習参観、学校・学年だより、ホームページ、学年・学級懇談会

【アクションプラン3】

重点項目	保健指導（つよいからだの子・・・体）
重点課題	心身ともに健康な生活を営もうとする実践的な態度の育成
現　　状	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会（すこやか集会）では、ゲーム障害に関する講話により、ゲーム依存症にならないようにメディアコントロールをする意識が高まり、すこやかチェックのノーゲーム・メディアコントロールデーの達成率が95点であった。 ・視力の低下が見られたため、養護教諭が各クラスで視力低下防止の授業を行った。外遊びが目にとってよいことやタブレットと顔の間の距離をとること、20分使ったら20秒目を休めること等を学習し、タブレットと顔の距離が測れるものさしを配布した。これからタブレットを使うことが増えることを踏まえ、対策を考えていかなければいけない。 ・外で遊ぶ児童が少なくなっており、肥満度20%以上の児童の割合が県平均を上回っている学年が多い。運動量を確保するとともに、体重コントロールの意識付けを行う必要がある。
具体目標 数値指数	・休み時間や放課後に、積極的に外や体育館等で体を動かして遊んだり、運動したりする児童の割合80%以上を目指す。
方　　策	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が外や体育館で遊んだり、運動したりしている実態を把握するために、アンケートを実施して課題を明らかにし、休み時間の過ごし方について考えさせる。 ・学校保健委員会で専門家からの指導を受け、運動することによって心や体の健康につながるということについて理解し、進んで運動する態度を育てる。
外部評価者	学校評議員、保護者
公開の方法	学校・学年だより、PTA広報誌、ホームページ、学年・学級懇談会